

## 第一節 「ルート」決議案

## (一) 「ルート」氏決議案起草議決

十一月十九日第二回極東問題總委員會ニ於テ前記支那提案ニ對スル各國全權ノ陳述アリ之ニ對スル支那全權ノ挨拶了ルヤ  
同様東西問題委員會題議案「ルート」氏ハ曾ア「マツキンレー」大統領ノ下ニ「ジョン、ヘー」國務卿カ支那ニ關スル門戸開放ノ政策ヲ宣  
明セル當時ノ閣員トシテ一言スル所アルヘキ旨ヲ前提シタル上『各國全權ノ所言ヲ綜合シテ考フルニ各國ハ何レモ(二)支  
那ノ獨立、領土的及行政的保全ヲ尊重スルニ一致シ(二)帝制廢棄後ノ新事態ニ於テ支那ニ對シ有效ナル政府ヲ樹立スルノ  
氏致議案「ルート」  
同様東西問題委員會題議案「ルート」  
同様東西問題委員會題議案「ルート」

機會ヲ與フルノ政策ニ一致シ及(三)支那全國ニ於テ各國ノ商工業力均等ノ機會ヲ與ヘラルヘキコトニ一致スルモノノ如シ  
然ルニ斯クノ如キ根本義ハ千九百二年、五年、七年及十一年ノ日英同盟條約、日露「ポーツマス」條約、日佛協商、  
高平「ルート」協定ニ於テ反覆聲明セラレタル所ナリト雖モ此際更ニ本委員會ノ決議ノ形式ニ於テ之ヲ宣明確認スルモ亦  
有益ナラストセス若シ本委員會ニシテ異議ナキニ於テハ予ハ本件ニ關スル一決議案ヲ起案スヘシ但シ本件決議案ニ直接ニ  
關係ヲ有スル二點ヲ考量セザルヘカラス第一ニ斯ノ如キ決議ト現有條約又ハ協定トノ關係ナリコノ點ニ關シ現存ノ事實及  
現存ノ權利關係ヲ創設シタル協定ハ之ヲ承認セザルヘカラス第二ニ「ブリアン」氏ヨリ「支那トハ何ゾヤ」トノ質問アリ  
タルカ之ヲ支那本部ト解シテ之ニ關スル決議案ヲ提出スルコトヲ得ヘクンハ商議ノ進行上實際的利便多カルヘシ」トノ趣

旨陳述セリ

(二) 「ルート」氏ノ提案

十一月二十一日極東問題總委員會第三回會議ヲ汎米會館ニ開キ幣原全權ノ外九國全權全部出席セリ  
十一月二十一日第一回第三回總委員會支那三關スルルト決議案ヲ提出セリ  
シタリトテ左記ノ決議案ヲ提出セリ

## RESOLUTION.

It is the firm intention of the powers attending this Conference:

1. To respect the sovereignty, the independence and the territorial and administrative integrity of China.
  2. To provide the fullest and most unembarrassed opportunity to China to develop and maintain for herself an effective and stable government, overcoming the difficulties incident to the change from the old and long continued imperial form of government.
  3. To safeguard for the world so far as it is within our power the principle of equal opportunity for the commerce and industry of all nations throughout the territory of China.
  4. To refrain from taking advantage of the present conditions in order to seek special rights or privileges which would abridge the rights of the subjects or citizens of friendly states and from countenancing action inimical to the security of such states.

## (右譯文)

左記各項ハ本會議參加國ノ確固タル意圖ナリ

(1) 支那ノ主權獨立並領土的及行政的保全ヲ尊重スヘシ

(11) 支那ニ對シ有力且ツ安固ナル政府ノ樹立及維持ノ爲メ最モ安全且ツ故障ナキ機會ヲ與フヘシ

(III) 支那ノ全領土ニ瓦リ各國民ノ商工業上ノ機會均等主義ヲ有效ニ確立シ及維持スル爲メ努力スヘシ

(四) 友好國ノ臣民若クハ市民ノ權利ヲ阻礙スヘキ特殊權利若クハ特權ヲ獲得スルカ爲メ現狀ヲ利用セス又右友好國ノ安寧ヲ害スル行爲ヲ許容セサルヘシ

## (II) 「ルート」決議案ノ審議

「ルート」  
案第一項  
討議

次テ右決議案ノ討議ニ入ルヤ支那全權ハ第一項中 respect & observe の意味ヲ含ムヤ否ヤヲ質シタルニ對シ「ルート」氏ハ respect の方 observe ヨリモ意味却テ強シト答ヘ次テ加藤全權ハ『行政的保全トハ支那ノ政治上ノ獨立尊重ヲ意味スルモノナリヤ將又各國ノ既得權及利益ニモ影響ヲ及ボスノ意味ナリヤ』ト質問シタルニ「ルート」氏ハ『支那カ既ニ附與セル特權ノ如キハ本決議ニ依リテ何等ノ影響ヲ受クルモノニ非ス既ニ支那ノ行政保全ヲ尊重スト謂フ以上獨立國タル支那行政權ノ發動タル條約其他ノ行政行爲モ亦尊重セラレサルヘカラス』ト答ヘ次テ「バルフォア」氏ハ『右ノ本旨ハ既存特權ヲ其儘持續スヘキヤ將又之ニ限界ヲ加フヘキヤニ關シ將來之ヲ討議スルヲ妨クルモノニ非スト解セラル例ヘハ治外法權若クハ税關制限協定ニ付テ云ヘハ今後更ニ協議ノ上之ヲ變更スルコトヲ妨ケサルト同時ニ必シシモ之カ變更ヲナサアルヘカラストノ義務ヲ生スルモノニモ非斯要スルニ現實ノ事態ヲ基礎トシ右決議案ノ趣旨ニ依リ討議ヲ進行セシメントスルモノナルヘシ』ト念ヲ押シ「ルート」氏之ヲ肯定セリ右質疑應答終ルヤ顧維鈞氏ハ本決議案カ假令現狀ヲ基礎トスルモノナリトスルモ現在ニ於ケル支那ノ行政ニ對スル制限ヲ永久ニ保持セントスルモノニ非スト思考ス從テ關係國ト協議ノ上其

ノ同意ヲ經テ是等制限ヲ廢止スルコトアルヘキ』旨ヲ述ヘテ本決議案ニ對スル贊意ヲ表シ右ニ對シ「ヒューズ」氏ハ『條約其ノ他ニ依リ制限セラレサル限リ支那カ其ノ自主權ヲ有スルハ當然ナリ』ト應酬シ次ニ『本決議ハ結局各國間ノ協約又ハ宣言トナルヘキヲ豫想スルモノナリヤ若シ然リトセハ右ハ支那ト外國トノ關係ヲ律セントスルモノナリヤ將又外國相互間ノ義務ヲ律セントスルモノナリヤ』トノ和蘭全權ノ質問アリ「ヒューズ」氏ハ之ニ對シ『本決議カ結局各國間ノ協約トナリヤ宣言トナルヤハ此際豫定シ置クニ及ハサルヘク要ハ本委員討議進行上ノ基準トシテ之ヲ採用セントスルニ過キサル』旨ヲ答ヘ次イテ佛國全權ヨリ『本決議ハ之ヲ過去ト現在トヲ區別スルモノナリヤ又予ハ本決議ニヨリ私的契約ハ何等侵犯セラルヘキニ非ス政府間ノ條約又ハ協定モ亦其ノ效力ヲ持續シ必シモ改訂ヲ要スルモノニ非スト思考ス然レ共現在ノ條約又ハ協定變更ヲ加ヘントスル場合ニ於テ之カ變更ハ支那ト當事國トノ商量ニ委スヘキヤ或ハ又本決議參加國全部ノ討議ニ附セントスルモノナリヤ』ヲ質問シタルニ「ルート」氏ハ過去未來等時ノ問題ニ關シテハ何等答フル所ナク『本決議ノ目的ハ支那以外ノ關係諸國間ノ見解ヲ表明シ現存ノ交換文書又ハ宣言ニ既ニ現ハレタル事項ヲ總括シテ示サントスルマテニシテ他意ナク既ニ宣言セラレタル支那ノ主權及保全ノ承認ヲ基礎トシ其ノ結果支那カ協定ヲ爲スノ權限ヲ承認スルモノナリ既ニ支那ノ主權ヲ認ムル以上支那カ其ノ主權ニヨリ自由ニ締結又ハ附與シタル協定條約又ハ讓與ノ效力ヲ認メサル可カラス然レ共本決議ハ支那ノ利益ノ爲メニ之ヲ變更スルコトニ依リ支那ヲ援助セントスル委員會ノ希望ノ實行ヲ妨クルモノニ非ス例ヘハ曩ニ關係國間ニ協定セラレタル支那海關稅率ノ如キハ支那ヲモ加ヘテ關係國間ニ於テ或ハ支那財政援助ノ見地ヨリ之ヲ増率セムトスル時ハ先ツ同問題ニ關係ヲ有スル各國間ニ於テ之ヲ協議スルコトトナルカ如キハ即チ其ノ一例ナリ』ト説明セリ

右ヲ以テ第一項ノ討議ヲ終ヘ次テ第二項ノ審議ニ入ルヤ英國全權ハ第二項 Government ノ次ノ overcoming the difficulties incident to the change from the old and long continued imperial form of government ュアルバ恰モ一ノ政體ヨリモ他ノ政體ヲ可トスルノ意味ヲ含ムモノト解セラル英國ハ支那ノ舊政體ニ比シ支那共和政體ニ多クノ同情ヲ有スルモ此際支那人自

〔ルート〕  
案第三項  
審議  
身ノ政體ニ關スル決定ニ付キ關說スルコトニ反對スト述ヘタル結果右一節ヲ削除ニ決シ次イテ第三項ノ “to safeguard for the world so far as it is within our power”ニ對シ伊國全權ヨリ右原案ノ字句尙微溫的ナラズヤトノ意見アリタルモ「ル

ート」氏ハ右一句ヲ挿入シタルハ支那ニ於テ特殊利益ヲ有スル諸國ニ對スル appealナリトテ「ジョン、ハイ」ノ公文ヲモ引用シテ説明スル所アリ結局英國全權ノ提議ニ基キ之ヲ “To use the influence for the purpose of effectively establishing and maintaining”ニ修正スルコトナレリ

〔ルート〕  
案第四項  
審議  
次ニ決議案第四項ニ所謂權利ノ意義及種類ニ關シ伊國及英國全權等ノ間ニ問答アリタルカ結局『支那カ私人會社又ハ一國各國全權ニ對スル各國全權』トノ意義ニ解スルコトニ評議一決セリ最後ニ決議案全文ニ所謂  
ニ對シ既ニ附與セル權利ヲ減損スルコトナカルヘシ』トノ意義ニ解スルコトニ評議一決セリ最後ニ決議案全文ニ所謂  
Powers ハ支那以外ノ各國ノ意味ナルモ支那ノ要望ヲ容レテ之ヲ明記スルコトトナリ茲ニ修正決議案ハ滿場一致ヲ以テ可  
修正決議案成立  
〔ルート〕  
案可決  
十二月十四日第十四回總會議ニ於テ前記右決議案ノ報告アリ提案者「ルート」氏ハ『本決議ハ支那ノ領土及行政上ノ獨立權ヲ保護シ各國カ支那ニ均等ナル機會ヲ有スル事ヲ規定スル大憲章ニシテ何レノ國モ他國ノ權利ヲ犠牲ニ供シテ自國ノ  
特權又ハ特殊利益ヲ支那ニ求ムルコトヲ得サルコトヲ約スルモノニ外ナラス』ト説明シ各國全權何レモ之ニ對シテ正式ノ  
承認ヲ答ヘ茲ニ本決議ノ成立ヲ見ルニ至レリ

#### (四) 對支一般原則宣明ニ對スル輿論

前記極東問題總委員會ニ於ケル關係諸國ノ聲明ハ一般評論ノ題目トナリ各國ノ態度何レモ支那ニ友好的ニシテ根本原則ニ  
多クノ一致ヲ示セルヲ特記シ極東問題ノ決定ヲ好望ナリトナスモノ多ク我方聲明ハ特ニ注意ヲ惹キ大體ニ於テ支那問題ニ  
對スル日本ノ態度ハ豫期以上ニ conciliatory ナリトナスニ一致セルモ日本ノ聲明ハ支那側提案ト同シク一般的抽象論ニ止  
マリ難關タルヘキ個々ノ問題ハ之ニ依リテ何等解決ノ曙光ヲ見サルノミナラス多數小問題ノ討議ニ依リ會議ヲ遷延セシム

ルヲ遺憾トストノ聲明ハ支那側ノ期待ニ反スルヲ以テ必ス討議ヲ惹起スヘシトノ意見ヲ述フルモノアリ又日本カ支那ノ内  
政不干涉ヲ主張セル眞意ハ日支兩國限リノ問題ヲ除外スルニ在ルヤノ疑ヲ懷クモノ少ナカラス又中ニハ支那内政ヲ處理ス  
ル多數有力支那人ハ日本ノ勢力下ニ在ルコトヲ特ニ指摘シタルモノアリ尙各新聞ハ日本ノ聲明ニ對スル支那側ノ批評トシ  
テ何レモ支那全權等カ日本ノ發表ニ満足セス猜疑ノ眼ヲ以テ迎ヘツツアル旨ヲ報道セル處中ニハ明カニ支那ノ宣傳ト認メ  
ラルル極タテ露骨ニシテ非禮ナル記事ヲ掲クルモノアリ

〔ルート〕  
案ニ對ス  
輿論  
將又諸新聞ハ二十一日ノ總委員會ニ於テ採用セラレタル支那問題四大原則ニ付キ種々ノ評論ヲ加ヘ本問題ノ討議ハ之ニ依

リテ一定ノ規準ヲ得其ノ進捗上大ナル一步ヲ進メタリト論シ之ヲ以テ支那ノ大憲章 (Magna Charta) トナスモノスラアリ  
一般ニ八個國ノ同意ヲ得タル右四大原則ハ支那ニ關スル從來ノ諸協約ノ何レヨリモ有力ナルモノニシテ之等總テニ代ルヘ  
キモノナリト云フニ一致セル處尙右原則中ニ所謂「支那」ノ範圍如何溼洲蒙古ハ之ニ含マルヘキヤトノ間ヲ發スルモノ多ク  
又行政獨立ハ郵便關稅鐵道等其ノ範圍極メテ廣汎ナル處關係諸國ハ果シテ真ニ之等諸種ノ特權ヲ放棄スルノ意志アリヤヲ  
疑フモノアリ要スルニ原則ハ原則タルニ止リ支那問題真ノ解決ハ尙今後右原則ヲ如何ニ實際問題ニ適用スルヤニ依リ決セ  
ラルヘシト爲スモノ多カリキ